

ワークショップ
日本における西洋古典受容

2019年5月25日（土） 10:00-17:50
慶應義塾大学日吉キャンパス
来往舎 2階大会議室

（東急東横線・東急目黒線／横浜市営地下鉄グリーンライン日吉駅徒歩 1分）

- 10:00-10:10 趣旨説明
10:10-11:00 渡邊 顕彦（大妻女子大学）
「近世ラテン語、古典受容と16～17世紀の日本人」
11:00-11:50 泰田 伊知朗（東洋大学）
「日本における西洋古典受容の夜明け前：
フランシスコ・ザビエルとラテン語そして日本語」
13:00-13:50 Tomohiko KONDO (Hokkaido University)
‘The Hymn to Apollo Arranged for
Traditional Japanese Gagaku Instruments’
13:50-14:40 Yasuhiro KATSUMATA (Kyoto University)
‘A Japanese Adaptation of Plutarch’s *Parallel Lives*:
Narrative Strategy in Ken SAWADA’s *Plutarchan Lives of the
Heroes for Children*’
14:50-15:40 中西 恭子（東京大学）
「日本語近現代詩における世界文学としての西洋古典受容」
15:40-16:30 Saiichiro NAKATANI (Keio University)
‘Inter-cultural/textual Play in the Poetry of Junzaburo NISHIWAKI’
16:40-17:30 Luciana CARDI (Osaka University)
‘Intersections between the Ancient Greco-Roman World and
Contemporary Japan in Mari YAMAZAKI’s Manga Production’
17:30-17:50 全体討論

* 一部の発表は FIEC / CA 2019 (15th Congress of the Fédération internationale des associations d’études classiques and the Classical Association annual conference 2019) (2019年7月4-8日・ロンドン) で予定されているパネル・セッション ‘We Are the Greeks/Romans: “Anatopistic” Classical Receptions in Modern Japan’ に向けての中間報告となります。

参加自由、事前申込不要
使用言語：日本語・英語（通訳なし）

問合せ先：

近藤 智彦（北海道大学大学院文学研究科） kondo@let.hokudai.ac.jp

中谷 彩一郎（慶應義塾大学文学部） nakatani@flet.keio.ac.jp

協力：

科研費プロジェクト「アリストテレス倫理学の再定位を通じた新たな自然主義的倫理学の構想」(17H02257)

科研費プロジェクト「古代末期地中海世界の教養文化における宗教像と宗教史像の思想史」(18K00099)

科研費プロジェクト「日本関係の近世ラテン語文学—成立の文脈と未校訂写本の研究—」(19K00503)

後援：慶應義塾大学教養研究センター